

## 大腸内視鏡検査 問診票

・確認事項

問1	心臓病や不整脈などの心臓の病気はありますか？	はい	いいえ
問2	心臓の病気や脳梗塞などで	はい	いいえ
	血液を固まりにくくする薬を内服していますか？	薬剤名: _____	
問3	血圧の薬を内服していますか？	はい	いいえ
問4	薬のアレルギーはありますか？（歯科麻酔も含む）	はい	いいえ
問5	糖尿病ですか？	はい	いいえ
問6	緑内障（眼圧が高くなる病気）ですか？	はい	いいえ
問7	（男性の方）前立腺肥大症ですか？	はい	いいえ
問8	甲状腺の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問9	肝臓の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問10	腎臓の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問11	COPD（呼吸器の病気）と言われたことはありますか？	はい	いいえ
問12	（女性の方）妊娠の可能性はありますか？	はい	いいえ

## 大腸内視鏡検査（大腸カメラ）同意書

私は担当医 河本 真大 より説明を受け、また、内視鏡検査・治療の目的、方法および偶発症等の説明文を読み、大腸内視鏡検査を受けることに同意します。

20 年 月 日

患者氏名（自署） \_\_\_\_\_

（又は保護者）

代理人氏名（自署） \_\_\_\_\_

（代理人は最も近い親族）（患者様との関係： \_\_\_\_\_）

※ 本人が判断不能な場合、代理人が署名して下さい。なお、本人の署名がある場合、代理人の署名は不要です。

# 大腸内視鏡検査 説明・同意書

## 1. 検査(治療)の概要および目的

大腸や回腸末端に病変が疑われた場合や、腹痛や便秘・下痢等の症状がある場合、血便など消化管出血が疑われる場合など病変を明らかにする目的に行います。また、ポリープ等の切除や止血などの治療を行います。

## 2. 前処置

下部消化管内視鏡検査を施行するためには、極力腸管内をカラにする必要があります。そのため、下剤の内服が必要となります。前日の就寝前に下剤を服用していただき、当日は、病院内にて検査約4時間前から腸管洗浄剤の内服をしていただきます。前処置が不十分な場合は、浣腸等を適宜追加します。

## 3. 鎮静剤について

検査中の苦痛を軽減するために、鎮静剤を原則使用しています。ただし、使用した場合、血圧低下や呼吸抑制、意識消失などの偶発症が生じる可能性があり、検査中は指先に血液中の酸素を測る装置等をつけ危険防止を心がけます。何らかの異常が生じた場合は、検査を中止し、拮抗薬の投与や点滴等の処置を行います。

尚、検査後の車やバイク、自転車の運転はしないでください。

## 4. 検査の方法

検査は内視鏡を肛門より挿入し、通常は回腸末端（小腸の出口）まで内視鏡を進めます。挿入に際して、体位変換や腹部圧迫を行うことがあります。挿入後は、空気を入れながら、腸の内腔を観察していきます。必要な場合には、病変部位に安全な色素を散布したり、拡大内視鏡を用いて詳細に観察します。何らかの病変が存在したり、病変が疑われる場合には、組織の一部をつまみとって標本を作成し、顕微鏡の検査（病理検査）を行うことがあります（生検検査）。また、観察の結果、切除が望ましいと判断されたポリープ等は切除を行う場合があります（ポリープ切除術）。生検検査やポリープ切除術の病理検査結果は、後日担当医より説明があります。

## 5. 検査(治療)の偶発症

観察のみとポリープ切除でその偶発症の頻度には差がありますが、大きなものとしては以下のものがあります。

- 1) 出血
- 2) 裂創（こすれてできる傷）
- 3) 穿孔（穴が開く）

出血をきたした場合は、再度内視鏡を挿入し、止血術を行う可能性があります。また、穿孔をきたした場合は、緊急手術が必要となる場合があります。

万一、偶発症が生じた場合には、外科処置を含め、責任を持ってその対応に当たります。

## 6. 検査(治療)後

- ・ 検査後は腹痛や腹満がなければ、飲水や食事を摂っていただいても結構です。生検検査やポリープ切除を施行した方は、検査後3日程度はアルコールや刺激物は控えてください。
- ・ ポリープ切除や止血術を行った場合で、出血などの偶発症のリスクが高いと判断された場合は、入院による経過観察を行う場合があります。
- ・ 鎮静剤使用した方は、当日車の運転は止めてください。
- ・ 軽い腹痛や腹満が起こる場合がありますが、ほとんどの場合は一時的なもので心配はいりません。しかし、なかなかおさまらない場合や腹痛が強くなる場合、血便が出る場合などおかしいと感じたら、速やかに病院に連絡してください。
- ・ 色素検査をした場合は、便が青くなる場合がありますが、一時的なものですので、心配はいりません。
- ・ 前処置の注射で眼がぼやける、ふらつく、気分が悪くなる、ドキドキする、おしっこが出ないなどが起こることがあります。通常は数時間でおさまりますが、激しい運動や運転は控えてください。
- ・ 当日、検査施行医師より薬を処方する場合があります。その場合は、指示通り内服して下さい。
- ・ 検査結果は当日または後日に担当医より説明いたします。

## 7. その他

治療中の病気やアレルギーのある方は注意が必要です。事前に申し出てください。現在内服中の薬については担当医の指示に従ってお飲み下さい。